

# 公明こうち

## 市議会ニュース

発行所／高知市議会公明党  
住所／〒780-0870  
高知市本町5丁目1番24号  
TEL:088-823-9403  
FAX:088-871-2485

2019年(令和元年)8月1日 第45号

高知市議会 KOMEITO 公明党

第470回

高知市議会定例会

## 改選後の初議会、市民目線で提言!!



山根 堂宏 議員



伊藤 弘幸 議員



西森 美和 議員

山根堂宏議員は、以下の質問をしました。

◆市長の政治姿勢について

高知市版CCRを具体的に進めるために選定した2事業者の事業内容や特色、事業の成果指標の評価基準の概要を求めました。

◆高知市歌について

昭和23年3月に交付された高知市歌について、小中学校での合唱の機会を進めるように、教育長に促しました。市長には、市民に愛され末永く親しまれるために、積極的な普及活動と新庁舎ロビーへ歌詞の掲示を提言しました。

◆消防行政について

消防署所再編計画2015に基づく、本年10月1日から再編する機構改革後的新たな4署4出張所体制で配置される、各係の役割と体制の概要を伺い、再編後の各署所体制の充実・強化と専門的な職員確保について求めました。

◆わんぱーくこうちの再整備について

わんぱーくこうちに併設するアニマルランドで飼育する動物の特色を伺うとともに、今後の広報活動とグッズ販売などの事業を提言しました。また、平成5年に開園したアニマルランドは、海に近いという地理条件の施設であり、開園30周年を目処に将来のマネジメントを考察しました。さらに、選挙期日前投票所の再構築の成果と検証、投票率向上への取り組みを促しました。さらに、選挙整備計画策定の検討を求めました。

◆選舉行政について

公報の音訳版について、現在作成しているカセットテープと新たにDVDを加えて併用運用を提言し、今秋の市長選から実施することになりました。

伊藤弘幸議員は、29年度より取り上げてきた自転車安全対策について質問を行いました。

◆自転車用ヘルメット購入助成の申請受付状況に関する条例

「高知県自転車の安全で適切な利用の促進に関する条例」が4月1日より施行され、本市でも公立小・中学校、高知商業高等学校へ

300万円の助成事業が予算化された。申請状況を伺う。

◆今後のヘルメット申請件数による補正予算化

当初予算で確保していた1047件に対し

て6月19日現在の申請数が955件に達する申請があつた。

伊藤弘幸議員は、29年度より取り上げてきた自転車安全対策について質問を行いました。

◆問 先の議会で予算不足の場合は、補正予算を検討する旨の答弁があり、今議会に自転車ヘルメット購入助成事業の増額補正予算(280万円)が組まれた。

更に今後申請件数が伸びれば再度補正予算を組む考えを伺う。

答 高知県に対して補助金の増額について相談を行い、必要な予算確保に努める。

◆通学時のヘルメット義務化

問 ヘルメットの着用は、命を守る安全対策の一つである。

通学時の着用義務付けとヘルメット着用率向上への取り組みを促しました。さらに、選挙

整備計画策定の検討を求めました。

◆北環状線からの排水機能の強化を提案

北環状線の冠水箇所のうち、①ローリン周辺は南の排水機場にまつすぐつながる水路があるため、ポンプの増強による効果が見込まれるが②ココス周辺は、南側の市道を含め周囲よりも10センチほど低いため、久万川のすぐ北の雨水幹線に至るまでの排水機能をさらに高める対策が必要であると訴えました。都市建設部長より「二ツ橋排水機場の増強の効果をふまえ検討する」との答弁があつたため、今後の排水機場の実施設計の検討を注視しながら、効果的な内水排除対策を継続して提案して参ります。

この地域は、98豪雨の直後に排水機場が設置されたものの、その能力不足により長い間浸水に悩まされてきた地域であるため、同じ轍を踏むことがないように取り組みます。

西森美和議員は平成26年の豪雨以降、地域住民の皆様とともに住宅地の浸水解消と北環状線の冠水を防ぐ対策に取り組んで参りました。本年5月に高知赤十字病院が開院し、北消防署と連携して県民・市民の皆様の命を守る拠点が稼動し始めたことをふまえ、北環状線の二ヶ所がたびたび通行止めとなる一ツ橋町エリアにおいて、現状の計画では十分な対策となっていないことを指摘し、改善を求めました。

西森美和議員は平成26年の豪雨以降、地域住民の皆様とともに住宅地の浸水解消と北環状線の冠水を防ぐ対策に取り組んで参りました。本年5月に高知赤十字病院が開院し、北消防署と連携して県民・市民の皆様の命を守る拠点が稼動し始めたことをふまえ、北環状線の二ヶ所がたびたび通行止めとなる一ツ橋町エリアにおいて、現状の計画では十分な対策となっていないことを指摘し、改善を求めました。

◆排水機場のポンプの能力の再検討を要請

一ツ橋・三園町エリアの「一ツ橋排水機場」のポンプの増強の基本設計では、最大排出量の毎分42tに比べ、23t(約55%)の能力しか發揮できない設計になつており、久万川への放流経路や堤防下の既存のずい道の活用など、能力を高める検討を強く求めました。

◆北環状線からの排水機能の強化を提案

北環状線の冠水箇所のうち、①ローリン周辺は南の排水機場にまつすぐつながる水路があるため、ポンプの増強による効果が見込まれるが②ココス周辺は、南側の市道を含め周囲よりも10センチほど低いため、久万川のすぐ北の雨水幹線に至るまでの排水機能をさらに高める対策が必要であると訴えました。都市建設部長より「二ツ橋排水機場の増強の効果をふまえ検討する」との答弁があつたため、今後の排水機場の実施設計の検討を注視しながら、効果的な内水排除対策を継続して提案して参ります。

この地域は、98豪雨の直後に排水機場が設置されたものの、その能力不足により長い間浸水に悩まされてきた地域であるため、同じ轍を踏むことがないように取り組みます。

# 消防署所再編について

高知市の消防体制は、昭和37年の高知市消防審議会の答申、平成10年の高知市消防整備計画策定懇話会の提言を受けて、平成11年に策定した「高知市消防整備計画1999」に沿って整備を図ってきました。

しかしながら、近年、人口減少や少子高齢化の進行、市町村合併など本市を取り巻く社会経済情勢は大きく変化をしてきました。

また、平成23年3月に発生した東日本大震災の教訓を踏まえ、南海トラフ地震に対する安全・安心のまちづくりの速やかな実現が望まれるなど、本市の消防行政に対する市民意識にも変化が表れています。

こうした中、南海トラフ地震対策としての消防庁舎の耐震化や津波・長期浸水を想定した適正配置と併せて、消防行政を取り巻く様々な環境変化に対応できる消防活動拠点の再構築を図るため、将来の消防組織の整備指針となる「消防署所再編計画構想」を平成23年11月に策定し、通常の火災・救急・救助災害への対応体制の強化と南海トラフ地震等の大規模災害対応力の充実・強化を図ることになりました。

そこで、この構想をより実効性のあるものとし、併せて

高知市の最上位計画である「2011高知総合計画」における本市消防行政のあるべき姿の基本的な方向性を示すものとして、平成27年に「高知市消防署所再編計画2015」を策定し、総合計画の基本計画との整合性を図るために、平成27年から平成32年度までの6年間として取り組んできました。

この計画に基づき、令和元年の本年10月に高知市の消防体制が4署4出張所の新体制に署所再編がされることになり、南消防署を廃止し、中央消防署を開所するとともに、南消防署南部分署を南消防署に格上げをするなど、ハード整備の完了に合わせて機構改革も行われます。



【筆山町に10月から開所する中央消防署】

## 副議長就任 あいさつ 寺内のりよし



このたび、第118代高知市議会副議長に選任されました。

令和元年の新時代、新庁舎も完成するこのときに、このような重責を担わせていただき身の引き締まる緊張感で一杯であります。

この役割を自覚し、議長の補佐役として、議会での議論を深め合議形成ができる円滑な議会運営を目指してまいります。

## 監査委員 あいさつ 大久保 尊司



監査委員の役割は、公平で合理的な行政運営を確保するため、「法令等に従って適正に行われているか」「合理的、効率的、経済的に行われているか」の観点から監査を実施するもので、重要な役割です。

この役割を自覚して、しっかりと取り組んで参る決意です。

## 常任委員会・議会運営委員会

総務常任委員会	寺内 憲資
○大久保尊司	寺内 憲資
建設環境常任委員会	山根 堂宏
○伊藤 弘幸	山根 堂宏
厚生常任委員会	西森 美和
西森 美和	西森 美和
経済文教常任委員会	高木 妙
高木 妙	高木 妙
議会運営委員会	西森 美和
○西森 美和	西森 美和

## 特別委員会

行政財政改革調査特別委員会	寺内 憲資
○山根 堂宏	寺内 憲資
南海地震等災害対策調査特別委員会	西森 美和 伊藤 弘幸
西森 美和	西森 美和
まちづくり調査特別委員会	高木 妙 大久保尊司
○高木 妙	高木 妙 大久保尊司

(○委員長 ○副委員長)

今年も近所の烟で「ど根性ひまわり」が咲いた。  
2011年の夏に、「がんばろう石巻」の看板の隅に咲いた一輪の「ひまわり」▼東日本大震災の津波により、どこからか流れ着き、たくましく咲く姿に勇気をもらつた人たちは、そのひまわりを「ど根性ひまわり」と呼ぶことにしたそうな▼その種が、日本のみなならず、世界の各地まで広がり、石巻から友人経由で高知市でも今年は9世が勇氣と希望の花を咲かせている。今年の梅雨入りは遅かったが、一方で、線状降水帯の影響で被害の出た地域も多い。本市は、これまで多くの災害に見舞われてきただけでなく、大雨による災害について語り、あの地からこの地へ励ましの心を作り上げたいし、今後発生するであろう南海トラフ地震の対策が図れるような地域にしたいと考える。(凜)

